

極めて乱暴 行政のあるべき姿ではない

# 再編計画(原案)を白紙に！彦根市議会が全会一致で意見書採択



9月22日、彦根市議会は「高校再編実施計画(原案)の白紙撤回を求める意見書」を全会一致で採択しました。宛先は、嘉田知事と県教育委員会。その要旨は以下の通りです。

## 彦根市議会として強い憤り

「実施計画(原案)は地元自治体や学校現場、生徒や保護者の意見を聞く機会をもたず、慎重審議や議論を尽くしたとは言い難い」「歴史ある伝統校を廃校とし、彦根東高校ならびに彦根工業高校定時制過程の廃止など、『魅力と活力ある学校づくり』と逆行した計画であり彦根市議会として強い憤りを感じる。」

## まだ『原案』なのに 実施されたと想定して進路調査

「未だ『原案』の段階にもかかわらず、9月2日には、県教委事務局から市教委事務局宛に、生徒の進路志望調査の前提として『計画が実施された場合を想定して調査を実施』する旨の事務連絡がなされ、進め方も極めて乱暴である。」  
「地域住民が全く望んでいない計画や事業を強引に推し進めることは、行政としてあるべき姿ではない。将来の県教育行政及び地域社会に大きな禍根を残し、まちづくりの推進に大きなマイナスとなる。」

## 生徒数は増加し計画の根拠は崩れている

「彦根市は、現在0歳児が高校受験を迎える平成37年まで、生徒数は減少どころか増加する見込みであり、今この時点で性急に計画を策定し実施する根拠は崩れている。今回の再編計画(原案)を白紙に戻す事は当然のことである」

\*あさってがつどい！こぞって参加しましょう！\*

**高校の統廃合 10・1 県民のつどい**  
**は許さない！** 13:00～ Gネットしが大ホール

来賓あいさつ決定！ 青木県議 西村県議 中西甲賀市議

マスコミも注目「10・1県民の集い」 一気に呼びかけを県議会では統廃合問題が大きな焦点になり、自民、対話の会、民主県民ネットなどの議員がつぎつぎに質問。マスメディアも関心を高めて連日地域の動きを報道、28日に私たちが行った記者会見の様もNHKテレビで放映されました。

「統廃合は許さない10・1県民の集い」に向けて実行委員会は大車輪です。湖北、彦根、信楽、全県の人々が合流します。全県の県議や市議の参加、高校生や母親の報告も決まってきました。あとは500人集まるかどうかです。参加者確認は150人を超えたところですが関心は急速に高まっています。今日を含めてあと2日、周りに一気に呼びかけましょう。

**ストップ高校統廃合速報** 2011年度第23号

2011/9/29 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)